

ジャパンテックス コンセプトゾーン
インテリアテキスタイルデザイン「ウェーブ」
1960-2001

インテリアテキスタイルデザイン「ウェーブ」の発表に寄せて



日本テキスタイルデザイン協会 理事長 上野昌男



社団法人 日本インテリアファブリックス協会 常務理事 細井一夫氏

日本テキスタイルデザイン協会は、多くの様々な繊維関係の仕事をする人達が集り、インテリア関連のテキスタイルデザイナーが中心になり昨年の1月に全国的規模で設立されました。ファッション衣料を始め、寝装寝具品、雑貨は勿論の事、農水産業、電機機器など器物に関するものに対しても、テキスタイルデザインは極めて重要なファクターを与えております。

私達、繊維に関わる全てのデザイナー、業界人、教育者或いは評論家や企業が自発的に集まり、この協会を盛り上げて参りました。

我が国の繊維産業の活性化と、生活文化創造に貢献する事を目的に、ひいてはテキスタイルデザイナーの職能、地位向上に役立てればと頑張っております。当協会設立1周年の記念すべき日に当たり、今回のJAPANTEX'96に対して、主催者のご厚意により日本インテリアファブリックス協会との共同企画が実現、インテリアテキスタイルデザインのコンセプトゾーンを具体的に構成させて頂きました。会場構成につきましては、日本インテリアファブリックス協会の会員・賛助会員、企業、また産地のウィーパーやニッターさんの方から貴重な資料をご提供頂きまして、この場を借りてお礼申し上げます。

当コンセプトゾーンは①1960年から現在までのインテリア業界とテキスタイルデザインの経年変化をビデオ化したコーナー、②当協会会員であり業界に偉大な功績を残されながら昨年亡くなられた栗辻博氏の作品コーナー、並びに③インテリアファッショントレンド、具体的にはヒューマンアート、ネオラステック、ミュ、シックアンドユーモアに分け、なつかしい未来と、新しい過去を表現したコーナーの三つに分かれております。

私達は今後もインテリアファブリックス協会と協力し、デザインの重要性をアピールすると共に、業界の発展に寄与したいと考えております。

皆様方のご支援をお願いいたしますと共にお時間の許す限り、ごゆっくりとご観覧頂きたくお願い申し上げます。



本日、インテリアテキスタイルデザイン「ウェーブ」1960～2001の発表に際し、半年以上も前からこの準備のため寝食を忘れてご努力されました日本テキスタイルデザイン協会の上野理事長様をはじめ大森様、中山様、杉山様、桜井様、小川様など多くの方々にお礼申し上げますと共に、心よりお祝い申し上げます。資金集めもさることながら、資料集めや、映像化にどれだけの時間を使われたか裏仕事の大変さが分かっているだけに今は只胸が一杯で何を申し上げたら良いか、只々頭の下がる思いです。

さて、私共、(社)日本インテリアファブリックス協会は、1979年の創立時よりインテリアファブリックス産業の振興対策として、共同展示会の開催を計画し、1982年1月にその第一回としてJAPANTEX'82を発足させる事ができました。以来回を重ねるたびに関連企業や諸外国からの出展を得まして、今にみる国際見本市となるまでに成長致しましたが、発足当時よりインテリアファブリックスのコンセプト発表を念願として参りました。

既に6年前より通産省の需要開拓事業として助成金を受けファブリックスデコレーションの提案として、様々な角度からインテリアファブリックスによる快適性やスタイル、創造性、歴史と言ったものをテーマに取り上げ、諸先生方の協力を得て発表して参りましたが、本格的なコンセプト発表には至りませんでした。

インテリア・リドの大森様とは何年も前から何時かやりましょうと何度も話し合ったものでした。外国の見本市ではインテリア雑誌やデザイナーの方が、主催者の依頼をうけてトレンド発表を行っている例を多く見る事ができます。私共も島田会長よりコンセプト委員会をつかってJAPANTEXのテーマゾーンで発表したらと、何度もお話しがりましたが、何分にも我が国のインテリアファブリックス業界を代表する大事業で荷が大きく、足踏み状態が続いていました。しかし幸いにも昨年1月日本テキスタイルデザイン協会が設立され、同協会を主軸として共同で発表できるならば、我が国で最も権威のあるトレンド提案ができると思いました。

いろいろとお話し合いを続ける内、同協会との事業計画の一環にも取り入れて戴ける事となり、本日に見る輝かしき発表の場となりました。

私自身、御協会の設立に際し、ほんのわずかお手伝いさせて頂いたと言うだけで、厚かましくも正会員に加入を許され、その立場からと業界の一員として、こんなに嬉しいことはありません。

このインテリアテキスタイルデザイン「ウェーブ」を更に世界への発信の場として大きく育てるため、日本テキスタイルデザイン協会会員の皆様方の更なる御協力をお願い申し上げますと共に、当インテリアファブリックス業界の理解と全面的な御支援をお願いいたしますと存じます。